

子供遍路塾

春休み(2016/4/4~4/6)

塾長	吉川 俊宏	太山寺住職(四国八十八ヶ所霊場会会長)
副塾長	石川 達司	四国路おへんろ倶楽部代表
理事	八坂 善教	八坂寺住職(四国八十八ヶ所霊場会青年部会会長)
	帽子 大輔	道後山の手ホテル社長(愛媛県議会議員)
	渡部 晴雄	いよてつ順拝センター取締役部長(四国八十八ヶ所霊場会公認先達)
	大野 愛子	いやしの宿八丁坂 代表取締役(久万高原町)
	三原 香	四国八十八ヶ所霊場会公認先達
	宮尾 弘照	四国八十八ヶ所霊場会公認先達・熟練歩き遍路先達
	松山大学	学生ボランティア
事務局長	近藤 國繁	ホテル椿館社長(四国八十八ヶ所霊場会公認先達)

春休み子供遍路塾

～日本遺産 四国八十八カ所巡礼～

今年、四国遍路が開創されて1200年が経過いたしました。その間、多くの内外の方々が四国遍路をされ人生の拠り所として、また活力の源として今日まで受け継がれて居ります。

しかしながら、近年あまりにも急激な社会の変化に対応しきれない人々が多くなって参りました。生活は、機械や時間に振り回され人と人が触れ合うことがだんだんと少なくなり、人間も無機質なものになって行く様でなりません。

私たちは、1200年という節目に当り静かに振り返り日本の心を取り戻すべく老若男女を問わず四国遍路の心を体感していただきたいと思っております。

くしくも国は、四国遍路を日本遺産に指定、また世界遺産にと運動・活動を始めて居ります。この様な時に、将来を担う子供たちにぜひ、先祖を敬う心や他人を思いやる心等、四国遍路の勉強に取り組んでいただきたいと願って塾を開校する事といたしました。多くの子供たちにご参加いただきたいと思っております。



四国八十八か所は今から1200年前、弘法大師が苦難の道のりを経て人々の心の悟りの場として開いた霊場です。平安時代の説話集「今昔物語」には、修行場として「四国の邊地」という言葉があります。邊地あるいは邊土とも書きますが、室町時代に入ると邊路と書く例が出てきます。遍路という言葉が使われ始めたのは江戸時代後期の、庶民が巡拝するようになってからです。

私たち四国に住む者にとりまして、巡拝は、身近な存在として1200年という長きに亘り受け継がれております事は周知のとおりでございます。しかしながら、時代の流れとともに、だんだんと遍路の心と申しますか、人々の生き方と申しますか、あまりにも急激な社会変化に人々が対応しきれなくなって来ている様にも思えます。

また、仏に手を合わすということが特別な事以外はなくなり人々の心は、病んでいる様にも見えます。

私たちは、1200年という節目にあたり、もう一度日本の心を取り戻すべく老若男女を問わず四国遍路に出かけてはいかがでしょうか？

また、全国から小さなお子様から大人に至るまで、この四国の地にお越しいただき、「お接待の心」「おもてなしの心」を体感していただきたいと思っております。

近年歩き遍路の増加が目立つようになり、癒しの旅、自分探しの旅、魂を甦らせる旅として幅広い年齢層の人々に愛されています。また、外国の歩き遍路もよく見かけるようになりました。そのお遍路さんを支えているのが、お接待という「おもてなしの心」と「美しい自然」です。

松山市には8カ寺、近郊の44番大寶寺と45番岩屋寺を入れると10カ寺の札所があります。これほど公共交通の便も良く、道後温泉本館前を遍路路が通り、近くに観光施設が点在する遍路路は他にありません。

遍路の最大の目的は、心身を鍛え、中高年齢者は生活習慣病対策に、子供達には先祖に対する敬いの心を芽生えさせ、若者には人生の目標と生活の自信につながる勉強をしていただける絶好の機会と考えております。

四国八十八カ寺巡礼推進会議

吉川 俊宏	太山寺住職（四国八十八ヶ所霊場会会長）
石川 達司	四国路おへんろ倶楽部代表
八坂 善教	八坂寺住職（四国八十八ヶ所霊場会青年部会会長）
帽子 大輔	道後山の手ホテル社長（愛媛県議会議員）
渡部 晴雄	いよてつ順拝センター取締役部長 （四国八十八ヶ所霊場会公認先達）
大野 愛子	いやしの宿八丁坂 代表取締役（久万高原町）
三原 香	四国八十八ヶ所霊場会公認先達
宮尾 弘照	四国八十八ヶ所霊場会公認先達・熟練歩き遍路先達
松山大学	学生ボランティア
近藤 國繁	ホテル椿館社長（四国八十八ヶ所霊場会公認先達）

お問い合わせ・お申込み先

～事務局～

ホテル椿館 本館

住所：愛媛県松山市道後鷺谷町5-32

担当：近藤國繁

電話番号：089-945-1000

携帯電話：090-4334-1702

子供遍路塾

教学カリキュラム

【1日目】

- ・ 塾開校式 13 : 30
- ・ 衣装等貸与 ◆ 白衣、お袈裟、数珠、般若心経経本
 - 1) 塾長あいさつ 吉川住職 (太山寺)
 - 2) 副塾長あいさつ 石川 達司
(スケジュール説明)
 - 3) 一般教学 14 : 00 ~ 16 : 00
(休憩あり)
 - 4) 般若心経読経練習 16 : 00 ~ 17 : 00
- ・ 入浴 17 : 30
- ・ 夕食 18 : 30 (作法)
- ・ 就寝 20 : 00 (作法)

教学カリキュラム

【2日目】

- ・起床 5：00◆布団片付け
洗面等を済ませ太山寺へバス移動
- ・太山寺到着 6：00◆到着後、直ちに境内の清掃、
その後本堂・大師堂参拝体験
ろうそく、線香、納札・般若心経読経
- ・太山寺出発 7：30◆ホテル帰着後、朝食（作法）座敷にて
- ・ホテル出発 9：00◆八坂寺到着 参拝体験（本堂、大師堂）
ろうそく、線香、納札・般若心経読経
終了後、お接待体験（11：30迄）
11：30◆持参の弁当で昼食
- ・八坂寺出発 12：30◆西林寺まで歩き遍路体験
- ・西林寺到着 14：30◆参拝体験後バスにてホテルへ
- ・ホテル到着 15：00◆お楽しみ会（約2時間）
- ・入浴 17：30
- ・夕食 18：30（作法）
- ・就寝 20：00（作法）

教学カリキュラム

【3日目】

- ・ 起床 5 : 00 ◆ 布団片付け
洗面等を済ませ朝食弁当を持ち
岩屋寺へバス移動
※バス移動中に朝食（弁当）
- ・ 岩屋寺入口到着 7 : 00 ◆ 到着
岩屋寺へ向け登山（約40分）
参拝体験後、下山
- ・ 岩屋寺発 9 : 30 ◆ バスにて砥部へ（10 : 30着）
砥部焼絵付け体験
- ・ 砥部出発 11 : 30 ◆ 出発
- ・ 塾閉校式 12 : 00
 - 1) 開式宣言 石川 達司
 - 2) 修了証書授与
 - 3) 塾長あいさつ 吉川住職（太山寺）
 - 4) 般若心経 合唱
 - 5) 記念撮影
- ・ 昼食 13 : 00 ◆ 昼食、食事終了後解散

参加御申込み方法

- ・電話、FAX、メール、はがき、手紙での御申し込みは出来ません。
- ・ホテル椿館（子供遍路塾）までご来館いただき、御申込み用紙にご記入いただきます。
（その場で本人確認を行い参加決定となります。）
- ・参加者の国籍は問いません。
- ・年齢は、小学校3年生～6年生を基準といたします。
- ・保護者のご参加も可能です。
（但し、お子様とは別部屋にて、大人のみ集合宿泊となります。）
- ・先着30名様をもって締め切りとさせていただきます。
- ・この体験は、毎年春・夏・冬の子供さんの休みの時期を加味して2泊3日で年3回実施いたします。

お願い事項

- ・当日は、12：30迄に御集合ください。
- ・事故、怪我などには万全を期すべく、ボランティアガイドにより遍路道中のサポート行います。
- ・遍路塾のボランティアガイドは、3日間皆様方の御世話をいたします。

※道中で不調の場合は必ず申し出てください。

お知らせ事項

- ・ 服装 普段着 運動靴 パジャマ 帽子
 下着類 タオル 防寒着 靴下
 雨具 水筒 洗面具
 リュックサック ()
 () ()

- ・ 貸与品 白衣、お袈裟、金剛杖、菅笠、数珠
(プログラム終了時、返却)

- ・ 進呈品 ・ 納札、ろうそく、線香

※納札、ろうそく、線香は各札所で必要な数のみ

- ・ 八十八ヶ所ご案内帳

- ・ 般若心経経本 1冊

上記を、全員にご進呈いたします。

ご参加料金

- ・ ご参加料金

子供 14,000円◆二泊三日(一泊三食×2)

大人 18,000円◆二泊三日(一泊三食×2)

- ・ 納経帳(お寺での納経、朱印を希望される方のみ)

1冊 2,000円

朱印 1ヶ寺300円(別途、実費にて御支払ください)